

2020 年度文系チャレンジ講座（第6回）を実施しました

11月4日（水）に福祉健康科学部の飯田法子先生を講師に迎え、「心理学への招待」というテーマで、文系チャレンジ講座の第6回を実施しました。遠隔配信した国東、臼杵、三重総合、安心院、日田、大分雄城台、別府翔青、竹田、大分鶴崎、大分商業、大分西、中津南と来学した由布、大分東明の14校376名が受講しました。

先生は、「心理学とは、様々なこころのメカニズムを解明するための学問である。Psychology（心理学）=Psyche（こころ）+logos（学問）」と話されました。



紀元前にはプラトン、アリストテレス、16~17世紀にはデカルト、ロックなどの哲学者が“こころ”について探求し、まだ130年程度と短い科学としての心理学の歴史の中で著名な心理学者を以下の順番で紹介されました。

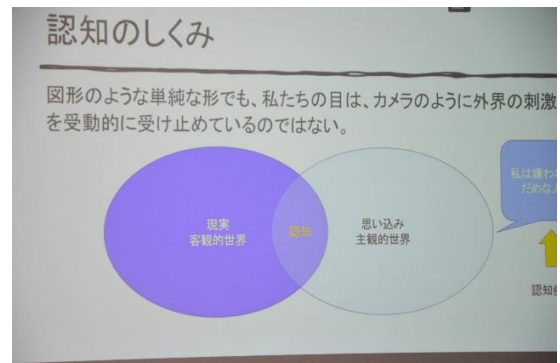
（1）フェヒナー、ウェーバー：数値化、グラフ化して法則を導き出す。（精神物理学）（2）ヴント：心理学を実験科学として確立。（近代心理学の父）（3）ヴェルトハイマー：心はものごとをまとまりとして捉え認識している。

（4）フロイト：無意識を発見。無意識にこころを守る仕組みがある。（5）ワトソン：人間は条件付けでどのような行動も身につく。行動心理学。環境決定論。

（6）スキナー：オペラント条件付け。学習していく力がある。新行動心理学。（7）セルグマン、マイヤー：学習とやる気の心理学。学習性無力感。（8）デシ：内発的動機付け。（外的報酬に頼らない）

フロイトの話の中では、「投影」と呼ばれる心の働きを体感できる「変身ゲーム」という活動を実際に行いました。

先生ご自身は、臨床心理学を研究されており、カウンセリングなどの研究に取り組まれているとのことでした。応用心理学にはスポーツ心理学、教育心理学、犯罪心理学、臨床心理学、災害心理学…などがあり、講義を通して心理学をより身近な学問として感じることができました。



講義後のアンケート調査では、「総合的に判断して授業がよかった」（98%「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計。以下同じ）、「教員は真剣に取り組んでいた」（100%）、「受講生は授業に意欲的に取り組んでいた」（98%）という結果でした。遠隔配信については、「音声はよく聞こえた」（98%）、「映像はよく見えた」（95%）という結果が出ました。